

「新しい公民館像をめざして」 (三多摩テーゼ)連続学習会

『新しい公民館像をめざして』(三多摩テーゼ)が発刊されて50年目の今年度、三多摩支部では「三多摩テーゼ」を読み返し、今日的な意味を考える連続学習会を行っています。

第3回学習会は、第二部「公民館職員の役割」を取り上げます。「三多摩テーゼ」は第一部(施設論)が1973年に発表され、翌1974年、「住民の方々、公民館関係職員の方々からの、ご意見をいただき内容を充実させ」(はしがきより)るため、臨時委員が加わり職員論を検討し合わせて発表されました。その経緯を見ると、公民館職員の役割がいかに重要であるかと捉えていることがわかります。

第二部では、①基本的な役割 ②組織体制 ③職務内容 ④勤務条件 ⑤任用 ⑥研修 ⑦職員集団、というように公民館職員にとって必要な条件を多岐にわたって示し、最後に「公民館主事の宣言(提案)」を掲げています。10月29日の三多摩支部学習交流会「市民の学習・表現活動を守り育む社会教育施設」で、佐藤一子さん(東京大学名誉教授)は「三多摩テーゼは『公民館の倫理規定』である」と評されました。

その後、三多摩の公民館にはさまざまな形で職員が配置されましたが、「三多摩テーゼ」で示された職員像がどこまで実現されたのか、現状や課題は何かを話し合いたいと思います。

三多摩各地、その他の地域の社会教育関係者とつながりながら、学習会を行います。ぜひご参加ください。



<第3回学習会>

日時 1月8日(月・祝日) 午後1時30分~4時30分

会場 国分寺市立本多公民館講座室(2階)

テーマ: 第二部「公民館職員の役割」

<話題提供> 谷岡重則さん(元社全協委員長、元世田谷区社会教育主事)

「三多摩テーゼ」は職員のバイブルだった!

<サブ報告> 公民館職員への思い(現役公民館職員、公民館利用者からを予定)

申込み 松田 090-8317-4237 E-mail: santama.syakyo@gmail.com

※事前に「三多摩テーゼ」を読んでご参加ください。三多摩テーゼが手元にないという方は、申込み時にメールアドレスを教えてくださいデータで送信します。

◆主催 社全協三多摩支部 ◆協力 国分寺・社会教育の会

※3月には、連続学習会のまとめとして「三多摩テーゼ50周年記念事業」を予定しています。